

広報

あさひまち

ASAHI-MACHI

1 | 平成8年
(1996)
月号
NO.470

賀正



ヒマラヤ未踏峰の山頂に立つ

鈴木正典さん（栄町）

新年



行財政改革で 一層の町発展を

朝日町長

清野 隆

新年あけましておめでとうございます。
町民の皆様には、輝かしい新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

さて、昨年の農産物は冷害による減収、更には長引く不況の影響による消費量の減や価格力の低下により、大変厳しい情勢にありました。一方町内の企業の動向をみるに、バブル崩壊、円高等の影響と、若年層の町外流出による労働者の高齢化が顕著に表れ、ひとつの転機にあるといえます。今後の展望は、極めて不透明と言わざるを得ない状況下であり、憂慮しているところであります。

今年は、国の財政も税収不足で、交付税の伸びは期待できない状況にありますので、町の財政も大変厳しくなりますが、町民各層の意見を集約して、二月末までに行財政改革大綱を策定いたします。

この大綱を着実に実行に移し、経常経費の削減に努め、「福祉と健康の町づくり」「定住対策と環境の整備」「活力ある産業の振興」「教育の振興と文化の創造」「町民との対話による町づくり」を五本の柱に、とくに、定住対策では住宅団地の造成、文化面では、生涯学習施設の用地取得、福祉面では病院の改築と、ふれあい荘の増築に向けての用地確保、教育面では、教育百年の大計づくりに、町民各位のご意見を十分にお聞きし、時間をかけて検討してまいる考えであります。

幾多の困難が予想されますが、このような時こそ、町民の心を一つにして十分な話し合いの下に、町民皆様の積極的な参画をいただき、町発展の為に邁進する所存であります。

皆様にとってご多幸で良い年となりますようご祈念申し上げ、年頭のご挨拶いたします。

謹 賀



現状の打開と 一歩前進を

朝日町議会議長

長岡 周 眞

新年明けましておめでとうございます。

昨年一年間を回想するとき、良き年でありましたようにとの願いも空しく、現実の厳しさを思い知らされた年であったと思います。平和で治安の良い国として世界の人々から信頼を得ていた日本が、阪神淡路大震災をはじめ、オウム真理教による松本サリン事件など、起こるはずのない数々の事件によって、善良な国民が痛ましい犠牲となったことは忘れることができません。これに追い打ちをかけるような経済不況など、この現実を一日も早く打開をし、平和と治安を取り戻すことを心から願うものです。

町内においても新農政に伴う農業や、バブル崩壊後の長引く不況による商工業をとりまく状況も一段と厳しさを増しております。

本年は、この現状を少しでもより良い方向に位置付ける年と思われれます。一人でも多くの町民が、安心して住める町を合言葉に、身近な生活環境を整備し、全町民一体となって豊かな町づくりを推進していかなければなりません。

議会としても、全議員が英知を出し合い、全力で町政に取り組む覚悟であります。皆様方のご指導を心よりお願い申し上げますと共に、町民各位のご健勝を祈念申し上げ年頭のご挨拶といたします。



(聞き手) 小林秀子さん
〈朝日山岳会々員〉



(話し手) 鈴木正典さん

世界初

鈴木正典さん(栄町)が ヒマラヤ未踏峰に初登頂

世界の屋根と言われ、インド北西部にも連なるヒマラヤ。そのなかの七千メートル級の未踏峰「マナ北西峰」に、昨年の夏、鈴木正典さんの登山隊が挑戦し、世界初の登頂に成功しました。今月はその鈴木さんに、朝日山岳会の小林秀子さん(栄町)がインタビューし、みなさんに紹介します。

制覇した未踏峰に

「シヴァ」と命名

●小林 ヒマラヤ未踏峰への初登頂、おめでとうございます。私たち朝日山岳会でも、世界初の快挙に大喜びです。ところで今回登頂された山は、どの辺にあるのですか。

●鈴木 インドとチベットの国境にあります。周辺は軍事上立ち入り禁止の場所なので、今回はインド隊と合同で登山するという条件付きで、ようやく許可がおりました。この未踏峰の山は、マナという山の北西部にあることから「マナ北西峰」と呼ばれ、高さは七千九十二メートルあります。

ルあります。

●小林 インドと合同の登山隊ということですが、メンバーの構成を教えてください。

●鈴木 日本側のメンバーは五人です。そのうち登攀リーダーを務めた私を含め三人が、実際に頂上まで登りました。インド側は、国境を警備するインドチベット国境警察隊のメンバーです。

●小林 未踏峰に初登頂した場合に、その登山隊に命名権が与えられるのですか。

●鈴木 未踏峰でもすでに名前がある場合には、命名権はありません。今回登頂した山は通称「マナ北西峰」と呼ばれ、正式

な名前がなかったもので、幸いにも命名権が与えられたんです。

●小林 それはすごいですね。それで名前は何とつけたのですか。

●鈴木 ヒンズー教の神で山に住むという「シヴァ」という名前をつけたんです。

平均傾斜七〇度の

壁を克服

●小林 七千メートル級の山に登った訳ですが、最大の難関はどんなことでしたか。

●鈴木 何と言っても平均傾斜七〇度の氷と岩の壁を越えることです。酸素も大変うすく苦労

しました。二日間、岩棚にビバーク(野宿)しましたが、ほとんど睡眠をとれず、最後の力を振りしぼり、やっと登頂することができました。メンバーの二人が高山病にかかりましたが、みんながんばってくれました。日本にはこんな高い山がないため、国内では高山病に対する訓練ができないんです。

●鈴木 登頂したときは、どんな思いでしたか。

●鈴木 登頂に成功したとき、ほっとしたというのが、最初の思いです。そして、七千九十二メートルの山頂から眺める、日本では見られないスケールの大きさに感動しました。雲のなか



山頂から望む雄大な眺め

に浮かぶ、岩峰や雪山の美しさは最高です。朝日町の「町旗」を持って記念撮影したりして、山頂には一時間ぐらい居ました。下山する頃には、この成功をステップに、新たな目標に向けた挑戦への意欲が沸いてきました。

●小林 登頂したときの写真を見ると、顔に何か塗っているようです。

●鈴木 日焼けして顔がボロボロにならないように、日焼け止めのクリームを塗っているんです。夜は皮膚呼吸ができるように、きれいに落とします。

●小林 虫歯の人は高い山に登ると、歯が痛くなると聞いたことがありますが。

●鈴木 そうですね。今回も事前に歯の治療をしてから登りました。

ゴミはすべて

持ち帰る

●小林 山登りのマナーというか、ゴミはどうするんですか。

●鈴木 吸い殻や空き缶など持って来られるゴミは、全部持ち帰ります。マナーについては、年々きびしくなっています。

●小林 食事はどういったものですか。



世界初の登頂に成功し、ベースキャンプで喜びにわくメンバーたち

●鈴木 ベースキャンプでの食事はインド食で、基本的には平地と同じです。それ以上の高さでは、インスタント食品やビスケットなどです。水がない場合は雪を溶かして作ります。

●小林 せっかく未踏峰を制覇する技術をもっているのですから、登山教室などを開いて、子供たちに伝えて行ってほしいと思

思うのですが。

●鈴木 そうですね。例えばお医者さんにも、直接患者さんと接する良医と、接しないまでも治療法などを研究している名医がいると思うのです。私は後者の方になりたいと思います。自分からは誘いませんが、一緒に登りたいという人がいれば拒みません。

チャンスを生かし

挑戦したい

●小林 ところで、なぜ鈴木さんは会社をやめられてまでも、未踏峰に挑戦したのですか。

●鈴木 定年になってからは、私のやりたい山登りは現実的にできないと思い、チャンスを生かし、自ら行動を起こすことにしました。

●小林 中学、高校では山岳部に入っていたのですか。

●鈴木 山岳部がなかったため、自分で計画をたて、朝日や飯豊連峰にひとり登っていました。ザックなどはアルバイトをして買ったんですよ。

●小林 ところで、地元には雄大な朝日連峰があるわけですが、子供たちの登山について、どう思いますか。

●鈴木 そうですね。親子で登って、山のすばらしさを肌で感じてほしいですね。大変だからやらないのではなく、苦労して登ったことも後でいい思い出になると思いますよ。

●小林 子供たちにも大いに登ってほしいですね。第二、第三の鈴木さんが育ってくれることを期待したいです。今日はどうもありがとうございました。



佐藤 慎也さん
(大滝・23歳)

ふれあい荘で寮父をやっています。じいちゃん、ばあちゃんのアイドルをめざします。



今野千恵子さん
(白倉・46歳)

今年も朝日自然観の食堂で働いています。腕によりをかけて待っていますので、みなさん来てください。



丹 美湖さん
(西船渡・11歳)

ねずみ年生まれの私。目標はそろばんの3級をとることです。習字や卓球も好きなので、さらにがんばりたいと思います。



長岡さととさん
(大谷1・83歳)

子年生まれの83歳。長生きの秘訣？特にないけど、毎日畑に行くのが一番の楽しみ。知らないうちに足腰も丈夫になるよ。

○ がんばるぞ!!



○ ひて 。 びびります



長岡 弘美さん
(前田沢・28歳)

農協スタンドに勤務しています。今年はぜひスキーをやりたいなー。冬道は油断しないで安全運転を心がけてね。



大竹 賢一さん
(西町・48歳)

町民の足となる町営バスの運転手として、安全運転に努めます。じいちゃん、ばあちゃん、今年も乗ってけらっしゃい。



鈴木 芳枝さん
(大隅・11歳)

今年は6年生になるので、特に算数をがんばります。もう一度、巫女の舞に挑戦したいなー。



笹原 勉さん
(新宿・36歳)

交番に赴任して一年、だいぶ朝日町に慣れました。今年も交通事故や犯罪のない明るい町をめざし、全力投球します。



佐藤みどりさん
(大谷2・33歳)

朝日町立病院で訪問看護を担当しています。常にやさしい気持ちを忘れずに、笑顔で患者さんと接します。



富樫 美奈ちゃん
(大町・5歳)

今年はピカピカの一年生になります。学校に行くのがとても楽しみです。小学生のお兄さん、お姉さんよろしくね。



鈴木 千穂ちゃん
(大谷 5・3 歳)

今年、保育園に入ります。みんなと歌をうたったり、遊んだりするのがとても楽しみです。



長岡 洋行さん
(本町・20 歳)

今年は希望あふれる成人の年。酒やたばこもいいけど、大人の責任と自覚をもち、目標に向かってがんばるぞ。



白田 美紀さん
(大谷 1・24 歳)

明るく楽しく、何ごとにも積極的にトライ。それに旅行もいきたいなー。今年はいいい年でありますように。



阿部とよ子さん
(松程・49 歳)

りんご温泉に勤めています。今年はいいい年だと思います。寒い冬でもポッカポッカ暖かい、りんご温泉にござっしやえ。



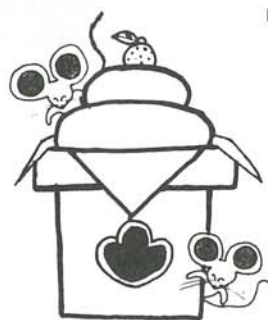
菅井 浩子さん
(沼向・36 歳)

ただ今、4 人の子育て奮闘中。子供たちの成長をバネに、私も飛躍の年にしたいですね。



長岡 辰幸くん
(常盤・11 歳)

ねずみ年のぼくは、今年中学生。初めて習う英語やスポーツなど、いろんなことにチャレンジしてがんばりたい。



今年也大いに

新年あけま
おめでとろ



鈴木沙那恵ちゃん
(杉山・7 歳)

杉山分校で今年も大泉先生と一緒に楽しく勉強したいなー。大きくなったら、看護婦さんになりたいです。



久保田克己さん
(消防署朝日分署長)

町民の大切な命と財産を守るため、署員一丸となり、最良の救急体制と無火災を目標にがんばります。



近衛 弥生さん
(大隅・21 歳)

ふれあい荘に勤めています。ドライブや旅行が大好きなので、今年は友達と一緒にバリ島へ行ってみたいなー。



長岡 敬祐くん
(太郎 1・5 歳)

保育園はおもしろいよ。今年は大い組さんになるので、小さい組さんのめんどろをみてあげたいです。

みんな の ひろば



長岡 孝司さん
由美さん



結婚さん

第一印象は「性格が良さそうな人」とお互い答え、ペースがぴったりだったから結婚したという二人。孝司さんは由美さんを気遣いながら、由美さんは孝司さんをたて、しつとりと落ち着いて答える。ゆったりペースの二人にしては、連日連夜ラブコールを送り、孝司さんは2週間に一度(時には毎週)、飛行機で由美さんのいる横浜へ直行。出会ってからたった2カ月で結婚を決意したというからすごい。

「これからの抱負は？」の質問に、「仲良く彼について行けばいいかなあ」と答えた後、「ああ恥ずかしい…」と、うつむいて思わず頭をかく由美さんがとてもかわいらしい。それを見て目を細める孝司さん。「自然がいっぱいの朝日町で、いろいろな野菜を自分で作ってみたい。いろんな活動をして、朝日町の住人になっていきたい」という由美さんをやさしく包みこみ、しかも大らかにバックアップしている孝司さん。ほんわかとお熱いところをみせてくれました。どうぞお幸せに!!

すてきな仲間たち

Asahi自然観スキースクール



快適スキーのパートナー

雪がなければどんなに毎日が快適でしょう。でも、雪の中での生活手段として生まれたスキーが、今では雪を利用して楽しむスポーツに生まれ変わってきています。そんな中、自然観にも、多くの人達にスキーの素晴らしさを知っていただけるように、Asahi自然観スキースクールが生まれ、今年で7年目を迎えました。スタッフも常勤・非常勤合わせて16人と充実。スクール(講習)・ゲレンデ整備・パトロール・スキーレンタル(貸し出し)の仕事に追われ、毎日眠い目をこすりながらも、雪の上でどこまで自分を感動的に表現できるかを追及しながら、がんばっています。

皆さん、私たちと一緒に冬を存分に楽しんでみませんか。

電車ごっこをして
園児「先生、どこまで行きたい？」
保母「うーん、山形まで。先生のお兄さんがいるんだ」
園児「学校に行ってるの？」
保母「?」。先生のお兄さんは、おじいさんになったから会社に行ってるんだよ」
園児「お兄さんがおじいちゃん？」



もちつき大会





～今年も走り続けます～

私が走り始めたのは八年前、スキーで膝を負傷したことがきっかけです。膝の周囲の筋肉を強化する事で負傷した膝を保護できるとの医師の言葉に、毎日少しずつ走り始めました。

それから二年後のアプル駅伝で区間賞になり、練習を積むごとに記録が伸びたことで、すっかり走ることの魅力に取りつかれてしまいました。

走ることににより多くの出会いがありました。また勤め先では会社ぐるみで応援していただき、社内と一緒に走る仲間も出ました。そして昨年は自己記録も更新でき、次の目標はフルマラソン出場です。

二十代後半に始めたと言うことで、スタートは遅れましたが、遅咲きの大輪を咲かせるためにこれからも毎日走り続けたいと思います。



「お遊戯が大好きで、す」



「私たち双子は大の仲良し」



「くまさんやミツキーちゃんと一緒だよ」



「着物姿もバツチリ」

朝日町の

むがす

昔ばなす

むかし、むかし、あつたけど。幼いころ聞いた昔話は、大人になつた今でも大切な宝物のように心に残っています。聞き慣れた方言で語り継がれて来た昔話は、私たちの心にするおいを与え、忘れかけていた大切なものを思い出させてくれます。

強いより賢い方が良い

(本町・今井千代寿さん)

ある山の中の獣^{けだもの}部落によ、サルだ、ウサギだ、シカだ、えつばえ山の中さえたつけど。その中さ、荒^{あら}しいライオンが一匹えだんだつたて。ほのライオンはよ、

「お前だ、俺、この森の親方^{おやがた}だから、俺食^やう奴、毎日一匹ずつ持つてこえ。ウサギでも、サルこでもええ。んでねえど、お前だば、みな殺すしてける」
獣だ、これ恐^{こわ}くてよ、

「んだれば、毎日、ライオン食べる奴、持つてがんねつだなえ」ど。

「んだら、この中に俺食べらつちえええ、て言う人はえねべ。くじ引きして負けだ人が、ライオンさ行^えつて食^えべてもらわんなねべ」

てゆう相談になつたんだど。

さるどびっきの餅つき

(大滝・柴田マサエさん)

さるどびっきが、餅ついで食^くうべて、餅つき始めだんだて。さるばかり、ひとりじめすつだいんだど、白の餅。

「んだがら、井戸のつるべさ入^はえて、さるが泣きまねしたんだて。オガーオガー」て、泣えだんだど。ほしたら、

「赤ちゃんが、井戸さ入^はえた」



「しょうねえだなね、みんな殺されるより、しょうねえだなね」てよ。
ある時、くじ引きしたらよ、一匹の小こえキヅネが、くじさ当たったつてな。

「お前行がんねつだなね、今日ねえ」て。

「くじ引きで負けだんだがら、これしょうねえ、俺行ってくるどはー」

ほして、ライオンが、今来つか今来つかど思て、待つちえでも、待つちえでも、待つちえでも来ねんだど、キヅネがよ。

「何したもんだがな」て、ライオン怒えで、怒えでよはー。夕方なても来ねんだて。

「一体、あの奴らばみな殺すしてけんべえ」

ど思て、待つがまえだつたどごさよ、キヅネが来たんだてよ。

「なんだず、今頃来てよ」

て、ライオン怒えで、怒えでよ。

「ライオンさん、ちえつと怒がねで、俺の話聞いてみてけれ」ど。

「俺の弟がな、お前より強え獣から食つちえすまたのよ。はえんで、なんだかんだ手間かがて、ちえつと来らんにえがつたんだ、悪げんども」

ライオンが、こんど、

「俺より強えなて、世の中さえねなだ、どごさえだんだ」ど。

「俺道案内すつから行つてみてけれ、あそこ、お前より強え奴えだんだ」ど。

キヅネがぶーと道案内しえでつたればよ、山の中さ、古井戸あつたつてよ。

「ライオン様、この中にお前より強えものがえだんだ。はえづ嘘だら、この中のぞえでみてけらつしやえ」

ライオンが、中をのぞえでみだらよ、眠はらんらんと、牙むぎだしてよ、(自分の姿映らつたのだな、水さ)

「この野郎、ほに、俺より強いのが、かえづばやつけてけれ」

て、なてよ、ライオンが、ジャバーンて井戸の中さ入えてえつたんだてはー。んで、上らんにえはー、ライオン。ほして、ライオン、ほの井戸の中で死んですまたんだつてはー。

して、ほのライオンえねくなてがらよ、みんーな森の獣だ幸せに、毎日暮してえだてよ。

んだがら、強えより賢え方がえんだて。強えばり強えたて、世の中で通るもんでなえど。

て、言うなで、びっきが助けにえつたんだど。
その間に、白ばがげがら、ゴロゴロとまぐしてやつたて。ほしたら、餅、途中さ引つかがて落つちえ、白だげ川さドブーンて、入えてしまったつて。

ほして、後がら、ノツタリ、ノツタリて行つたのが、びっきで、一人で食つてえだなだど。

ほしたら、さるが、白追つかげで行つたげんど、白の中さ餅が無えもんだがら、戻て来て、

「びっきどの、びっきどの、おれさも一づ食しえでくろー」

て、さるが言つたんだど。

「んだら、尻つたせ、熱つついどご切つてけつから」
て、さるが尻つた出たどごさ、熱つついどご切つて投げだがら、さるの尻つつが、赤くなつたんだて、聞いたな。



この話は、朝日町人材養成事業「あさひまちF21」教育文化プロジェクト民話研究グループが発刊した、「朝日町の昔話集」第二集より抜粋したものです。



「残雪」伊藤政義さん（助ノ巻）

わたしの作品

〈竹の子会・水松会・虹の会〉



「薫風」漆山孝子さん（常盤）



「五月の朝」阿部良子さん（元町）



「てっせん」阿部タカエさん（大谷1）



「千年の松」松本隆子さん（常盤）



「春近し」兼子晃子さん（大谷1）



「ふさすぐり」多田 積さん（大町）